

超小型バッテリー式電気自動車（BEV）の導入について

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、気候変動・環境保全への取組みの一環として、超小型バッテリー式電気自動車（BEV）である「Coms」（1人乗り）を3台、「C+pod」（2人乗り）を3台、計6台を2店舗（貢川支店・敷島支店）に導入しました。

今般導入した電気自動車の走行時のCO₂排出量は、従前のガソリンを燃料とする軽自動車の半分程度となります。

当行は、今後も営業店と本部で使用する営業車について、電気自動車やハイブリッド車など、環境に配慮した車両を積極的に導入してまいります。

<今般導入した超小型バッテリー式電気自動車（BEV）>



以上